

令和4年度 大阪府立東淀工業高等学校  
第1回 学校運営協議会議事録

令和4年7月26日

・協議案件

- 1 大阪府立東淀工業高等学校学校運営協議会会長及び副会長選出
- 2 「令和4年度学校経営計画及び学校評価」について

・議事録

○委員からの意見                   ⇒学校からの返答

- 学校内に居場所があるという取り組みはありがたいこと。一番大事なこと。
- 他人を認める、自分を認めてもらうということは大切なこと。
- クラブや学校行事を通して、人づくりができていないか。
- 人とのかかわり合いが持っていると感じた。会社としても、そのような人との関わり合いを大切にしている。
- 中期的目標内の「1 確かな学力の育成」について、学習するための周りの環境は大切。「2 安心安全な学校」につながるものと捉えている。
- 「3 自ら未来を切り拓く生徒の育成」について、様々なことを「協働」で取り組んでいる。教員が生徒のことを考えて、熱い気持ちで携わっていることが感じられる。
- 学校生活に対して、肯定的な回答が80%以上あり、達成しているのではないか。  
⇒ 現状を維持することを大事にしながら、ネガティブな気持ちを感じている生徒へのアプローチも取り組んでいく。
- 校長の考えが伝わってきた。
- 淀川区工業会として、工場見学やインターンシップなど協力、連携をしたい。  
⇒ 学校としてもありがたい。今後、担当の部署に伝え、連携をお願いしたい。
- AI型学習ドリルを活用されており、生徒の学び直しややり直しの機会があり、生徒にとってありがたいと思う。
- 先生と生徒の言葉のキャッチボールが十分にあると感じた。
- ハイパーQ-Uの結果から、「要支援群」になっている生徒への支援を検討していただきたい。この生徒への支援を進めることで中途退学者を減らす一つの方策にもつながると思う。
- 学校運営協議会としては、本経営計画でしっかりと取り組んでいただきたい。